

## 発生動向の概況

感染性胃腸炎が県下全域で急増しています。今シーズンは例年に比べ流行の立ち上がりが早く、大きな流行となった昨シーズンを超える勢いで発生しています。高齢者施設などでの集団発生事例も報告されました。例年、ノロウイルスによる感染性胃腸炎はこれから年末にかけてさらに増加してきます。せっけんを使用しての手洗いを徹底し、感染予防に努めましょう。なお愛媛県ではノロウイルスによる食中毒注意報を発令しています。カキ等の二枚貝の生食を避け十分に加熱するなど、食品の取り扱いにも注意してください。

(愛媛県業務衛生課 <http://www.pref.ehime.jp/040hokenhukushi/020yakumueisei/00004793040531/index.htm>)

インフルエンザは宇和島地区から 1 例報告がありました。県内では流行の兆しはまだありませんが、全国的にみると第 43 週以降患者報告数の増加が続いています。近年インフルエンザは、流行シーズン前半に A 型、後半に B 型が多く分離される傾向がありますが、今シーズンは B 型が早い時期から分離されているようです。これから流行シーズンを迎えます。インフルエンザにはワクチン、手洗い、マスク、うがい等が有効です。詳細は当センターホームページをご覧ください。

(愛媛県感染症情報センターホームページ <http://www.pref.ehime.jp/040hokenhukushi/140eikanken/kanjyo/index.htm>)

A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎は増加傾向です。まれに重症化する事がありますので、喉の痛み、発熱など症状が出た場合は医療機関を受診しましょう。水痘は全域で増加傾向です。例年、年末年始にかけて流行のピークがありますので今後患者数の増加が見込まれます。手足口病は横ばいで推移しています。西条地区のみ増加傾向で他地区は散発程度です。伝染性紅斑は四国中央地区および中予で増加しています。マイコプラズマ肺炎は例年に比べ報告数の多い状況で推移しています。RS ウイルス感染症が今治地区で増加傾向です。

## 県内での感染症発生状況

全数把握感染症                      今回の届出はありませんでした。

定点把握感染症 (数字は最新週の定点当たり報告数、発生地区は保健所名を記載)

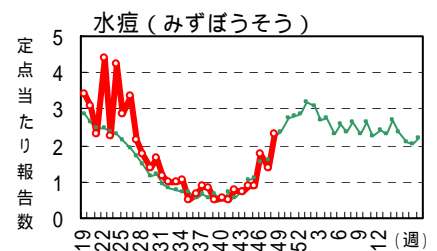
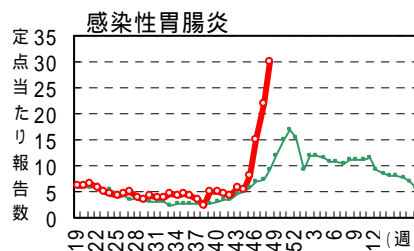
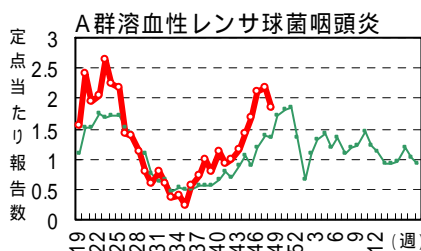
	愛媛県推移	県内の傾向
A 群溶レン菌咽頭炎	↗ 1.8	増加傾向が続く。四国中央、宇和島地区以外で多発している。
感染性胃腸炎	↗ 30.1	全域で急増中。例年と比べ流行の立ち上がりが早く、大きな流行となっている。
水痘	↗ 2.3	増加傾向。中予以南で多発。
手足口病	→ 0.6	西条地区のみ多発傾向が続いている。県下全域ではほぼ横ばい。
マイコプラズマ肺炎	↗ 1.3	横ばいで推移。宇和島での多発が続く。

### 解析評価委員のコメントから

感染性胃腸炎：急激に増加してきました。感染力は大変強く、家族内感染も多数見られます。(中予)  
外来では感染性胃腸炎の受診が多く、入院する患者もいます。なかには下痢関連性の痙攣も見られます。(南予)

マイコプラズマ肺炎：依然として続いています。比較的年少児にも見られます。(中予)  
宇和島ではなおも多発していますが、減少傾向にはありません。(南予)

過去 30 週の動向 (  : 過去 30 週の動向、  : 過去 10 年の平均、RS ウイルス感染症は過去 2 年の平均)



本感染症情報に関するご意見、ご質問は [eikanken@pref.ehime.jp](mailto:eikanken@pref.ehime.jp) までお願い致します。

(注) 本情報での患者数は届出医療機関所在の保健所での集計で、患者の住所を示すものではありません。

**病原体検出情報**

感染性胃腸炎報告数の急峻な増加に伴い、定点からの胃腸炎検体もかなり増えています。下表のように第 47・48 週には、ノロウイルス (G2 型) が高率に (検出率 85%以上) 検出されております。これらの検出患者年齢は乳幼児から 80 歳代と、幅広い年齢層にわたっています。散発性患者のみならず、県内各地 (全国でも) で集団発生の原因ウイルスにもなっており、今後もこの流行はしばらく持続すると考えられます。

第 43 週の宇和島地区の髄膜炎患者髄液から、エコーウイルス 18 型が検出されました。第 47 週には A 群溶レン菌が検出されていますが、この他下気道炎から検出のアデノ様ウイルスを同定中です。

過去 5 週 検出病原体

(10 月 30 日以降採取検体)

週	期間	発生地区	臨床診断名	検出病原体	検体	例数
44	10/30 ~ 11/5	西条	手足口病	エンテロ 71	咽頭ぬぐい液	1
			松山市	感染性胃腸炎	ノロ	糞便
		松山市	無菌性髄膜炎	ムンプス	髄液	1
			下気道炎	アデノ 2	咽頭ぬぐい液	1
45	11/6 ~ 11/12	松山市	感染性胃腸炎	ノロ	糞便	2
46	11/13 ~ 11/19	松山市	A 群溶レン菌咽頭炎	A 群溶レン菌	咽頭ぬぐい液	1
			感染性胃腸炎	サルモネラ O4	糞便	1
			感染性胃腸炎	カンピロバクター	糞便	1
			感染性胃腸炎	ノロ	糞便	4
47	11/20 ~ 11/26	今治	感染性胃腸炎	ノロ	糞便	1
		松山市	A 群溶レン菌咽頭炎	A 群溶レン菌	咽頭ぬぐい液	2
			感染性胃腸炎	ノロ	糞便	8
宇和島	感染性胃腸炎	ノロ	糞便	14		
48	11/27 ~ 12/3	今治	感染性胃腸炎	ノロ	糞便	3
		松山市	感染性胃腸炎	ノロ	糞便	9
		宇和島	感染性胃腸炎	ノロ	糞便	1

月別病原体検出結果

検出病原体	2006						合計	
	7	8	9	10	11	12		
ウイルス	コクサッキー A2	3	1				4	
	コクサッキー A4		1				1	
	コクサッキー A9		1	1			2	
	エコー 5	1	1	1			3	
	エコー 18				1		1	
	ポリオ 1				1		1	
	エンテロ 71	2	2	3	1		8	
	RS		3	1			4	
	ムンプス	1	2		3		6	
	ロタ	1					1	
	アストロ			1			1	
	ノロ	1		1	6	40	3	51
	サボ	1						1
	アデノ		1	1				2
	アデノ 1				2			2
	アデノ 2				1			1
アデノ 3	1						1	
アデノ 5	1		1				2	
単純ヘルペス 1	3	2					5	
ウイルス計	15	14	10	15	40	3	97	
細菌	下痢原性大腸菌		2		2		4	
	サルモネラ O4					1	1	
	サルモネラ O7			1			1	
	カンピロバクター	1	1		1	1	4	
	A 群溶レン菌	1		2	2	3	8	
細菌計	2	3	3	5	5		18	

臨床診断名別検出結果 (2006 年 10 月以降採取検体)

検出病原体	A 群溶レン菌咽頭炎	感染性胃腸炎	手足口病	流行性耳下腺炎	無菌性髄膜炎	下気道炎	不明発疹熱	発疹症・不明発疹症	合計
エコー 18					1				1
ポリオ 1								1	1
エンテロ 71			1						1
ムンプス				1	1		1		3
ノロ		49							49
アデノ 1				1			1		2
アデノ 2						1			1
ウイルス計		49	1	2	2	1	2	1	58
下痢原性大腸菌		2							2
サルモネラ O4		1							1
カンピロバクター		2							2
A 群溶レン菌	5								5
細菌計	5	5							10

愛媛県 定点把握五類感染症 2006年 第 48 週 (2006.11.27 ~ 12.3)

患者報告数	インフルエンザ	小児科定点											眼科定点		基幹定点					成人麻しん		
		RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	風しん	ヘルパンギーナ	麻しん	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎		クラミジア肺炎	
四国中央			1	1	104	4	3	3					2	-	-							四国中央
西条				12	150	5	16	9				1	3									西条
今治		5	4	10	162	3	2	5				1	8		9				1			今治
松山市		2	2	20	383	38	1	14	8				4		1	-	-	-	-	-		松山市
松山			2	13	69	8			9						1				2			松山
八幡浜				11	167	18		1	3						6				2			八幡浜
宇和島	1			1	78	10		1	2				1						3			宇和島
愛媛県	1	7	9	68	1113	86	22	20	36			2	18		17				8			愛媛県
1週前		3	7	80	812	50	25	15	41			2	20		15				6			1週前
2週前		4	2	78	550	65	29	6	32			2	19		27				8			2週前
3週前		4	2	62	305	32	26	24	37			1	14		25				13			3週前
0-5ヶ月		2			14	1			4													0
6-11ヶ月			2		88	2		1	23													1-4
1		2	4	1	182	15	5		9				1						4			5-9
2			3	2	152	18	4					1	1						4			10-14
3		1		7	124	19	7	4					4		2							15-19
4		2		5	118	9	2	4					4									20-24
5				16	91	7	1	5					5		1							25-29
6				9	77	2	2	2				1	1									30-34
7				8	46	4		1					1									35-39
8				5	51	2									1							40-44
9				7	39	1		2														45-49
10-14				5	75	6		1					1		1							50-54
15-19	1			1	9										1							55-59
20-29 <sup>5)</sup>				2	47		1								3							60-64
30-39															4							65-69
40-49															3							70-
50-59																						
60-69															1							
70-79 <sup>6)</sup>																						
80-																						

定点当たり報告数

四国中央			.3	.3	34.7	1.3	1.0	1.0					.7	-	-							四国中央
西条				2.0	25.0	.8	2.7	1.5				.2	.5									西条
今治		1.0	.8	2.0	32.4	.6	.4	.2	1.0			.2	1.6		9.0				1.0			今治
松山市		.2	.2	1.8	34.8	3.5	.1	1.3	.7				.4		.3	-	-	-	-	-		松山市
松山			.5	3.3	17.3	2.0			2.3						1.0				2.0			松山
八幡浜				2.8	41.8	4.5		.3	.8						6.0				2.0			八幡浜
宇和島		.1		.3	19.5	2.5		.3	.5				.3						3.0			宇和島
愛媛県	.0	.2	.2	1.8	30.1	2.3	.6	.5	1.0			.1	.5		2.1				1.3			愛媛県

- 1) 高病原性鳥インフルエンザを除く。 2) 成人麻しんを除く。 3) 真菌性を含む。 4) オウム病を除く。  
 5) 小児科定点疾患については20歳以上の全患者数を"20-29"に計上。 6) 眼科定点疾患については70歳以上の全患者数を"70-79"に計上。

(参考) 保健所別定点数

定 点 数	愛媛県	四国中央	西 条	今 治	松山市	松 山	八幡浜	宇和島
インフルエンザ定点	61	5	10	8	17	7	7	7
小児科定点	37	3	6	5	11	4	4	4
眼科定点	8	-	1	1	3	1	1	1
基幹定点	6	1	1	1	-	1	1	1

注) 表中の報告数は12月6日集計分であり、その後の報告数は次週以降に反映されます。

愛媛県 定点把握五類感染症 2006年 第 47 週 (2006.11.20 ~ 11.26)

患者報告数	インフルエンザ	小児科定点											眼科定点		基幹定点					成人麻しん	
		RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	風しん	ヘルパンギーナ	麻しん	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎		クラミジア肺炎
四国中央					52	4	2	2	3			1	1	-	-						四国中央
西条				10	112	4	17	8			1				4						西条
今治	1	1	18	132	2	2	1	5					10		3			2			今治
松山市	2	5	33	277	18	2	6	8					5		5	-	-	-	-	-	松山市
松山		1	6	69	7	1	1	6													松山
八幡浜			8	125	12	1	4	8					3		3			1			八幡浜
宇和島			5	45	3		1	3				1						3			宇和島
愛媛県	3	7	80	812	50	25	15	41			2	20		15				6			愛媛県
1週前	4	2	78	550	65	29	6	32			2	19		27				8			1週前
2週前	4	2	62	305	32	26	24	37			1	14		25				13			2週前
3週前	3	3	52	206	33	25	11	26	1		7	19		25				9			3週前
0-5ヶ月				8	1	1		1													0
6-11ヶ月	1	1		59	3		1	21													1-4
1		2		156	9	8		18					1					2			5-9
2		1	4	130	9	6	3	1					1					1			10-14
3		1	6	93	14	5							3								15-19
4			12	78	4	2	1				2		6		4						20-24
5	1	2	17	67	6	1	2						4								25-29
6			12	39	1	1	1						4								30-34
7			5	35		1	4							1							35-39
8			8	27	1		2														40-44
9			4	18			1						1								45-49
10-14			10	51	1									1							50-54
15-19			1	2																	55-59
20-29 <sup>5)</sup>	1		1	49	1																60-64
30-39															5						65-69
40-49															1						70-
50-59															1						
60-69															2						
70-79 <sup>6)</sup>																					
80-																					

定点当たり報告数

四国中央				17.3	1.3	.7	.7	1.0			.3	.3	-	-							四国中央
西条			1.7	18.7	.7	2.8	1.3				.2			4.0							西条
今治	.2	.2	3.6	26.4	.4	.4	.2	1.0				2.0		3.0			2.0				今治
松山市	.2	.5	3.0	25.2	1.6	.2	.5	.7				.5		1.7	-	-	-	-	-		松山市
松山		.3	1.5	17.3	1.8	.3	.3	1.5													松山
八幡浜			2.0	31.3	3.0	.3	1.0	2.0				.8		3.0				1.0			八幡浜
宇和島			1.3	11.3	.8		.3	.8				.3						3.0			宇和島
愛媛県	.1	.2	2.2	21.9	1.4	.7	.4	1.1			.1	.5		1.9				1.0			愛媛県

- 1) 高病原性鳥インフルエンザを除く。 2) 成人麻しんを除く。 3) 真菌性を含む。 4) オウム病を除く。  
 5) 小児科定点疾患については20歳以上の全患者数を"20-29"に計上。 6) 眼科定点疾患については70歳以上の全患者数を"70-79"に計上。

(参考) 保健所別定点数

定 点 数	愛媛県	四国中央	西 条	今 治	松山市	松 山	八幡浜	宇和島
インフルエンザ定点	61	5	10	8	17	7	7	7
小児科定点	37	3	6	5	11	4	4	4
眼科定点	8	-	1	1	3	1	1	1
基幹定点	6	1	1	1	-	1	1	1

注) 表中の報告数は11月29日集計分であり、その後の報告数は次週以降に反映されます。



全国 定点把握感染症 第45、46週 (2006.11.6 ~ 11.19)

(定点当たり報告数)

	1)	小児科定点											眼科定点		基幹定点					
		RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	風しん	ヘルパンギーナ	麻しん <sup>2)</sup>	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎 <sup>3)</sup>	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎 <sup>4)</sup>
45週	愛媛県	.1	.1	1.7	8.2	.9	.7	.6	1.0			.0	.4		3.1			2.2		
	近畿県																			
	香川県	.2	.1	.3	9.3	.6	.0	.3	.6				.5		.7					
	徳島県	.2	.1	.6	8.2	.6	.4	.2	.6				1.3		.5					
	高知県		.2	2.4	5.5	.6	.2		.5			.1	1.4		1.7		.1	.1		
	全 国	.0	.1	.3	15.2	1.1	.6	.3	.6	.0	.0	.1	1.0	.0	.8	.0	.0	.7	.0	
	北海道	.0	.2	.8	3.2	2.2	.9	.3	.4			.0	1.8		.8			.1		
	東北	.0	.1	.4	1.6	6.5	1.8	.9	.4	.6	.0	.2	1.2	.0	1.3	.0		.8		
	関東	.0	.1	.2	1.5	9.0	1.1	.8	.4	.6	.0	.0	.7	.0	.9		.0	1.1	.1	
	甲信越北陸	.0	.0	.6	1.8	8.3	1.2	1.1	.3	.6	.0	.0	1.8	.0	.6		.0	.6	.0	
東海	.0	.0	.3	1.2	13.9	.8	.3	.4	.6	.0	.0	.9		.3	.0	.0	.6			
近畿	.0	.1	.3	1.2	14.4	1.0	.5	.3	.6	.0	.0	1.0	.0	.6	.0	.1	.7			
中国四国	.0	.2	.3	1.5	13.1	.7	.3	.3	.6	.0	.0	.8	.0	1.0	.0	.0	.4			
九州沖縄	.0	.2	.3	1.5	15.1	1.1	.6	.1	.7	.0	.1	1.0	.1	.9	.0	.0	.5	.0		

(2006.11.16集計)

46週	愛媛県	.1	.1	2.1	14.9	1.8	.8	.2	.9			.1	.5		3.4			1.3		
	近畿県																			
	香川県	.3	.2	.7	13.2	.9	.1	.2	.5				.5		.3					
	徳島県			1.3	13.1	.4	.3	.2	.6			.1	1.3		.5					
	高知県		.0	2.3	8.7	1.0	.4	.1	.6			.0	1.1		1.3	.1		.1		
	全 国	.0	.2	.3	17.7	1.2	.5	.3	.6	.0	.0	.0	.9	.0	.8	.0	.0	.7	.0	
	北海道	.4	1.0	3.7	4.6	2.2	1.0	.5	.5			.1	1.3		.8	.0		.1		
	東北	.0	.2	.5	1.6	9.5	1.6	.9	.5	.6	.0	.0	1.2		.9	.0		1.0	.0	
	関東	.0	.1	.2	1.7	15.5	1.0	.6	.4	.6	.0	.1	.6	.0	1.0	.0	.0	1.2	.1	
	甲信越北陸	.0	.1	.6	2.1	15.6	1.3	.9	.3	.6		.0	2.0	.0	.6			.6	.0	
東海	.0	.0	.3	1.9	20.6	1.0	.3	.4	.7		.0	.8	.0	.3	.0	.0	.6			
近畿	.0	.2	.2	1.3	19.9	1.1	.3	.2	.5	.0	.0	.8	.0	.5		.1	.7			
中国四国	.0	.2	.2	1.6	18.3	1.1	.2	.1	.6	.0	.0	.8	.0	1.2	.0	.0	.5			
九州沖縄	.1	.3	.4	1.6	17.7	1.1	.6	.1	.8	.0	.0	.9	.1	.9	.0	.0	.5	.0		

(2006.11.24集計)

1) 高病原性鳥インフルエンザを除く。 2) 成人麻しんを除く。 3) 真菌性を含む。 4) オウム病は除く。

全国 全数把握感染症 第45、46週 (2006.11.6 ~ 11.19)

類 型	二類感染症				三類	四類感染症														五類感染症																								
	疾病名	(2) コレラ	(3) 細菌性赤痢	(5) 腸チフス	(6) パラチフス	(1) 腸管出血性大腸菌感染症	(1) E型肝炎	(2) ウエストナイル熱 (ウエストナイル脳炎を含む)	(3) A型肝炎	(4) エキノコックス症	(6) オウム病	(8) Q熱	(9) 狂犬病	(11) コクシジオイデス症	(15) つつが虫病	(16) デング熱	(18) 日本紅斑熱	(19) 日本脳炎	(22) ブルセラ症	(23) 発しんチフス	(24) ボツリヌス症	(25) マラリア	(26) 野兔病	(27) ライム病	(29) レジオネラ症	(30) レプトスピラ症	(1) アメーバ赤痢	(2) ウイルス性肝炎 (E型及びA型肝炎を除く)	(3) 急性脳炎	(4) クリプトスポリジウム症	(5) クロイツフェルト・ヤコブ病	(6) 劇症型溶血性レンサ球菌感染症	(7) 後天性免疫不全症候群	(8) ジアルジア症	(9) 髄膜炎菌性髄膜炎	(10) 先天性風しん症候群	(11) 梅毒	(12) 破傷風	(13) 黄色ブドウ球菌感染症	(14) パンコマイシン耐性腸球菌感染症				
第45・46週報告数	全 国		8	2		84	3		3		1	1		39	2	3				1					7	3	19	8	2		3	2	22	1			12	1		4				
	四 国	愛 媛 県																																										
		香 川 県					2					1																1													1			
		徳 島 県					2																																					
		高 知 県													1														1															
	ブ ロ ッ ク 別	北 海 道					4	1																				2																
		東 北 関 東					9								15												1	1	1												1			
		甲 信 越 北 陸			3	1	17				1				8	1						1					2	3														6		3
		東 海 近 畿			1		4								3											2	2	2	2	1	1										1			1
		中 国 四 国					10	2							3	1												3	3													2		1
九 州 沖 縄					1	8								1			2										2	5	3												2			
週 推 移	全 国			3		49	2		3		1	1		24	2	2				1					3	11	1	2		1	1	10						6	1		2			
				5	2	35	1							15		1									4	8	7			2	1	12	1					6			2			
		1	8			66			4					7	2	4								1	1	5	2	3		2	1	9					5							
			8	4		64			1					1	2	2				2					8	6	5			1	2		6	1				10	2					
2006年累積数	全 国	46	439	66	22	3633	61		304	19	20	2	1	2	244	52	43	7	5		2	56		11	445	23	657	250	141	15	153	97	1155	80	13		550	107		65				
	四 国	愛 媛 県		6	2		16			4					1		8									2	4	4	1	1	3		6					4	1					
		香 川 県					19			1		3	2													3	3		1			1	4					12						
		徳 島 県					48			1							1										5				1							4	1					
		高 知 県		2	1		3			3					1		3	1					2				2	4	1			3					26	1						
	ブ ロ ッ ク 別	北 海 道		2	2		77	18		13	18					1			1						2	16	23	4	8	3	7	6	25	1				8	5		2			
		東 北 関 東	2	16			370	2		10		3			124				1		1	4				28	23	20	5		6	4	33		2			36	3		4			
		甲 信 越 北 陸	7	36	3	2	298	6		24		1			45	3			2			5			2	64	2	16	18	12	1	20	5	46	3	1		21	7		4			
		東 海 近 畿	5	38	8	3	435	5		38	1	2			11	7	1					4			2	71	77	28	15		18	14	141	3	1		62	8		10				
		中 国 四 国	2	127	8	3	568	5		99		4		1	2	4	9					1	7			71	2	157	71	17	3	22	23	229	21	2		72	9		8			
九 州 沖 縄		4	16	3		379	3		39		3	2		16	1	16	2				3				34	32	28	19	1	19	7	39	4		66	14		4						

・医療機関での診断日をもとに集計。集計日以降の報告数は、次週以降の累積に反映されます。

(2006.11.24集計)